

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン

別売部品 左配管用接続パイプ

取付説明書

形名 PAC-SC84PI
PAC-SC85PI
PAC-SG80PI
PAC-SH28PI



安全のために必ず守ること

※取付け前に本説明書と室内ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ確実にこなしてください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

誤って取付けをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡しください。

この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
------------	---

⚠注意	取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
------------	---

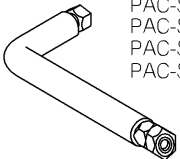
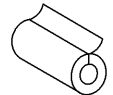

⚠注意	冷媒配管の断熱は結露しないように確実にこなす。 不完全な断熱工事を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。
------------	---

⚠注意	ドレン配管は、取付説明書に従って確実に排水できるよう施工し、結露が生じないよう保温すること。 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因となります。
------------	--

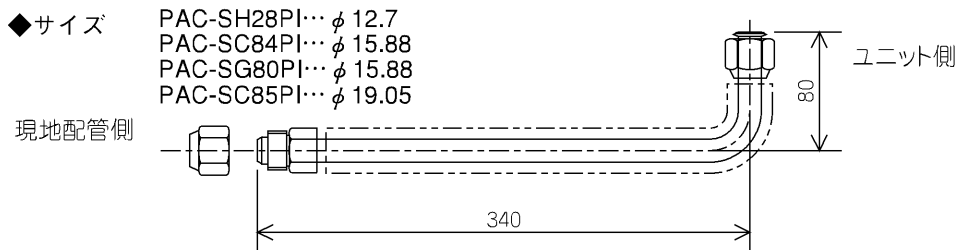
⚠注意	ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。 頭からかぶるなどして口や鼻をふさぎ窒息する恐れがあります。
------------	---

この接続パイプは、壁掛形室内ユニットにおいて、冷媒配管（ガス管）の左、左後、右、右後、下方向取出しを行なう場合に使用します。

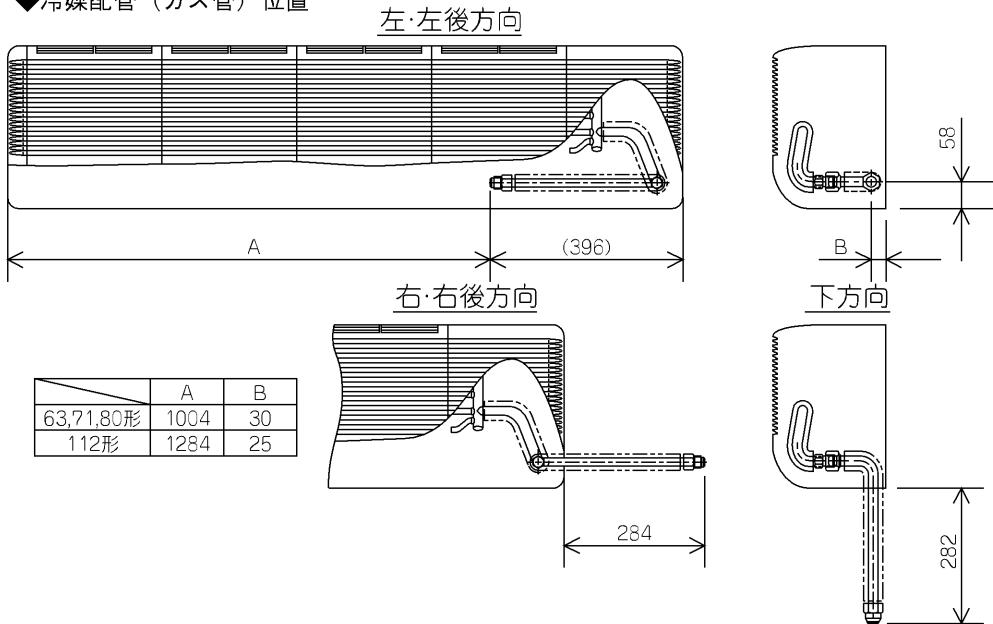
1. 付属部品のご確認（下記部品が付属されております、取付け前にご確認ください。）

①接続パイプ(ガス管)	②パイプカバー	③バンド
 PAC-SH28PI...φ12.7 PAC-SC84PI...φ15.88 PAC-SG80PI...φ15.88 PAC-SC85PI...φ19.05 x1	 x1	 x2

2. 冷媒配管位置（ガス管）（単位mm）



◆冷媒配管（ガス管）位置

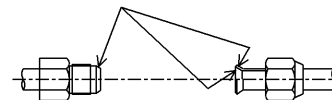


3. 取付方法

◆現地配管との接続

1. 接続パイプ①のフレアナットおよびキャップを取外す
2. 現地配管をフレア加工し、フレアシート面に冷凍機油（現地手配）を塗布
3. 接続パイプ①のフレア接続口に、現地側配管を接続
※フレアナットは、必ず、ダブルスパナにて締付けてください。
4. フレア接続部が露出しないように付属のパイプカバー②を巻く
5. 付属のバンド③にて、パイプカバーの両端（15～20mm）を締付け

フレアシート面全周に冷凍機油を塗布



◆室内ユニットとの接続（室内ユニットの据付工事説明書もご覧ください）

1. 室内ユニットのフレアナットおよびキャップを取外す
2. フレアシート面に冷凍機油（現地手配）を塗布
3. 室内ユニットのフレア接続口に、素早く接続
※フレアナットは、必ず、ダブルスパナにて締付けてください。
4. フレア接続部が露出しないように室内ユニットに付属のパイプカバーを巻く
5. 室内ユニットに付属のバンド（大）にて、パイプカバーの両端（15～20mm）を締付け

ユニットの配管スペースに収納する場合（左・左後方向取出の場合）

- ※露タレ防止のため冷媒配管のうち、ユニットの配管スペース内に収納される範囲には、室内ユニットに付属のフェルトテープを巻く
- ※フェルトテープの重ね代はテープ幅の1/2以下
- ※巻き付けの終端部は包帯止め等で固定

